



Tempearl

◆パールミニ漏電ブレーカ 取扱説明書(保存用)

テンパール 漏電遮断器

- このたびは、漏電遮断器をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書は、ご使用前によくお読み頂き、大切に保管してください。

安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

△ 注意

- テンパール工業製住宅分電盤パールミニシリーズへの取付け専用です。他社製の分電盤には取付けできません。また、パールミニ漏電ブレーカ単体での使用はできません。他社製分電盤に取付けた場合、火災のおそれがあります。
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
- 負荷側連結端子に接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで、電線を奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。

△ 危険

：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

△ 注意

：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷を受ける可能性が想定される場合及び物的障害だけの発生が想定される場合。

なお **△ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

△ 注意

- ①電気工事は、有資格者(電気工士)が行ってください。
- ②配線作業は上位遮断器をOFFにし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- ③端子のL相とN相を正しく接続してください。(AC100V回路専用器種の場合)
- ④高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
- ⑤ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物及び雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。
- ⑥連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。(内線規定)

■保守・点検上のご注意

△ 注意

- ①保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- ②保守・点検は、上位遮断器をOFFにし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電または短絡のおそれがあります。

■使用上のご注意

△ 危険

- ①漏電遮断器は行きの電流と帰りの電流との差が規定以上になった時に動作する仕組みとなっており、2本の線を握った場合(両線間)は漏電検出しません。よって2か所の裸充電部には絶対に触らないようにしてください。感電時に動作しません。
- ②端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。

△ 注意

- ①電気機器のアース端子は必ず接地してください。
- ②自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルをONにしてください。感電・火災のおそれがあります。
- ③月に1回程度、テストボタンを押して動作確認を行ってください。漏電遮断器が「OFF」にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。

----- 其他のご注意 -----

■施工上のご注意

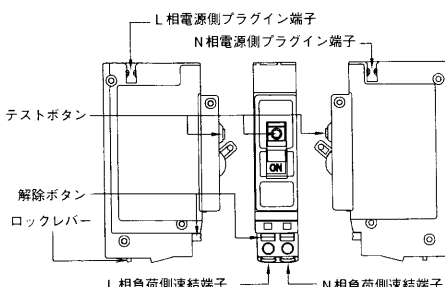
- ①アークスペースを確保してください。
- ②30Aを2台並列にして60Aにするような並列使用はできません。
- ③ブレーカの動作で二次的影響を受ける負荷には警報回路を併用してください。
- ④取付後は必ずテストボタンを押して動作を確認してください。

■使用上のご注意

- ①絶縁抵抗を測定するとき、各極と対地間の測定はできますが線間の測定はできません。線間の測定をされる場合は、負荷電線をとりはずし、その電線の箇所まで測定してください。

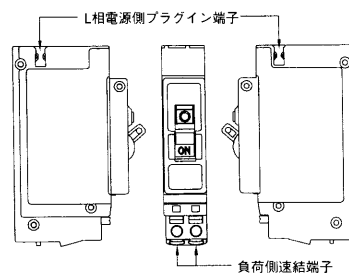
各部の名称

2 P 1 E (下列用)



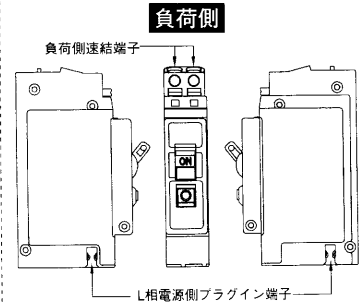
2 P 2 E (下列用)

電源側



負荷側

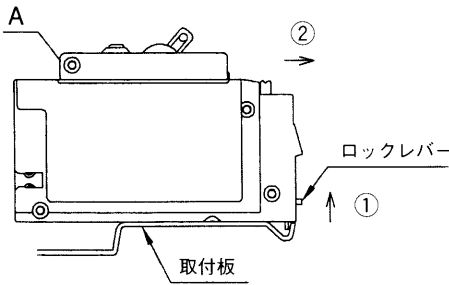
2 P 2 E (上列用)



電源側

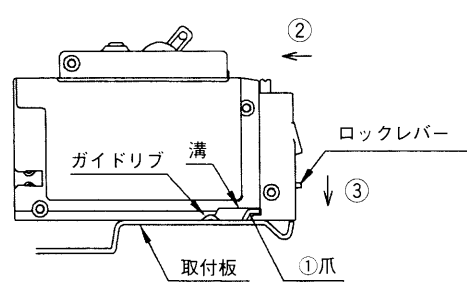
本体の取付け・プラグイン端子の接続

[取外し]



- ①ロックレバーを上側へスライドさせる。
- ②A部に指を掛けて荷側へ水平に引いてください。

[取付け]

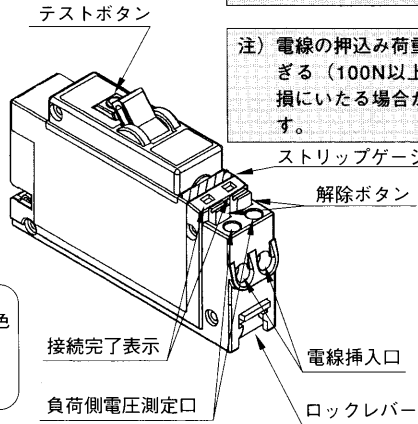


- ①ブレーカをガイドリブの間に置き、取付板の爪をブレーカの溝に合わせる。
- ②ブレーカを水平に奥まで差し込む。
- ③ロックレバーを必ず下側へ降ろしてください。

速結端子への接続

- 電線をブレーカ本体のストリップゲージに合わせて被覆をむいてください。(13mm~18mm)
- 電線挿入口に電線を入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差し込んでください。
- 電線を抜く場合は、解除ボタンを押しながら、電線を引いてください。

注) 電線を差し込んで、オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は接続が不十分です。電線のむき長さを確認して接続直してください。施工時の電線処理によりオレンジ色の表示が消えた場合は、再度電線を差し込み直してください。



★接続可能電線：φ 1.6・φ 2.0・φ 2.6 Cu (銅) 単線専用
注) 30Aは、φ 2.6単線もしくは、指定の棒端子を接続してください。

(より線の場合は棒圧着端子使用)

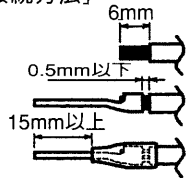
注) 解除ボタンの押込み荷重が高すぎる(70N以上)と破損にいたる場合があります。

注) 電線の押込み荷重が高すぎる(100N以上)と破損にいたる場合があります。

より線サイズ	適合棒圧着端子使用
1. 2.5 mm ²	TC 2-20(棒圧着端子)
2. 0 mm ²	VC 1-2(絶縁キャップ) 【ニチフ製】
3. 5 mm ²	TC 5.5-21ST(棒圧着端子)
5. 5 mm ²	VC 5.5-21(絶縁キャップ) 【ニチフ製】 (30Aに標準付属)

[棒圧着端子接続方法]

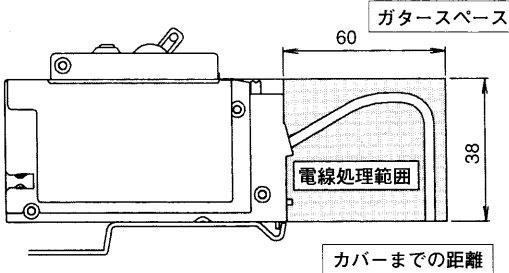
- ①被覆を6mmむく
- ②圧着端子に通し、かしめる
- ③絶縁キャップをかぶせる



■適合圧着工具

ニチフ製 NH1, NH9, NA3 (NA3 7) または同等品

注) 接続電線は電線処理範囲内で配線してください。(範囲外に出ますと電線被覆を傷つけ、感電・短絡のおそれがあります。)



⚠ 注意

- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良の原因となります。電線をむき直してから接続してください。
- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
- 棒圧着端子を使用する場合は、必ず絶縁キャップを取付けてください。短絡のおそれがあります。
- 心線をはんだ付けしないでください。
- 適合圧着工具を使用して電線をかしめてください。

この商品及び取扱説明書の内容につきまして、ご不明な点・ご苦情がありましたら、お近くの弊社支店または営業所までおたずねください。

テンパール工業株式会社

本店 〒732-0802
広島市南区大州三丁目1番42号
TEL (082) 282-1341

D 16-00202C

札幌 (011) 824-2081
仙台 (022) 287-3881
青森 (017) 783-3138
新潟 (025) 286-6820
つくば (029) 857-7655
東京 (03) 3847-9811

千代田 (043) 268-2225
横浜 (045) 319-0801
名古屋 (052) 774-2200
静岡 (054) 237-5255
北陸 (076) 223-3121
大阪 (06) 6353-6641
京都 (075) 693-4030

神戸 (078) 576-5758
広島 (082) 281-7755
江 (0852) 25-3554
山 (086) 244-0909
福山 (084) 928-7801
山口 (083) 924-2985
高松 (087) 821-5575

松山 (089) 924-2075
福岡 (092) 411-4420
北九州 (093) 961-6533
鹿児島 (099) 253-5286

施工電気工事業者名

TEL ()
施工年月日 年 月 日